



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日
東

上場会社名 株式会社大紀アルミニウム工業所 上場取引所
 コード番号 5702 URL <http://www.dik-net.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山本 隆章
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理部担当 (氏名) 小川 泰司 (TEL) 06-6444-2751
 定時株主総会開催予定日 2020年6月19日 配当支払開始予定日 2020年6月22日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	159,079	△19.1	7,719	△4.8	7,723	8.4	5,586	10.4
2019年3月期	196,749	6.0	8,111	18.2	7,125	8.0	5,058	12.7

(注) 包括利益 2020年3月期 5,380百万円 (26.3%) 2019年3月期 4,259百万円 (△18.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	137.88	135.78	15.5	8.9	4.9
2019年3月期	122.40	120.54	15.5	7.7	4.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 ー百万円 2019年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	83,234	38,691	45.8	941.88
2019年3月期	90,802	34,516	37.4	834.87

(参考) 自己資本 2020年3月期 38,148百万円 2019年3月期 33,990百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	20,241	△5,929	△11,146	9,177
2019年3月期	12,058	△4,560	△7,768	5,244

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00	1,026	20.4	3.2
2020年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00	1,012	18.1	2.8
2021年3月期(予想)	—	12.00	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の期末配当予想につきましては、現時点で未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	43,629,235株	2019年3月期	43,629,235株
② 期末自己株式数	2020年3月期	3,126,760株	2019年3月期	2,915,291株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	40,516,927株	2019年3月期	41,331,033株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	92,022	△19.7	2,325	△28.5	3,372	△21.3	2,895	△26.1
2019年3月期	114,644	△1.7	3,253	△0.5	4,283	6.1	3,918	22.5
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	71.48		70.39					
2019年3月期	94.82		93.38					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	56,720		28,411		49.8		697.89	
2019年3月期	60,803		27,126		44.4		662.64	

(参考) 自己資本 2020年3月期 28,266百万円 2019年3月期 26,978百万円

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の業績予想について本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費税増税に伴い個人消費が落ち込むも緩やかに持ち直していました。一方、海外では米中の貿易摩擦激化や英国EU離脱問題による世界経済の減速感が一段と高まり、さらに年度末からの新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の影響もあり、経済や社会の先行きは極めて不透明な状況で推移しました。

こうした環境のもと当社グループにおいては、大手需要先である自動車メーカーの販売数量が前年比微減となったことにより、需要は低調に推移しました。

この結果、当社グループの連結売上高につきましては、前年同期に比して販売数量が減少し販売価格も低下したことにより、アルミニウム二次合金地金969億2千1百万円（前年同期比16.4%減）、商品・原料他621億5千7百万円（前年同期比23.2%減）で、これらを併せた売上高総額は1,590億7千9百万円（前年同期比19.1%減）となりました。

また、収益面につきましては、国内において、販売数量が減少し減益となりましたが、海外の連結子会社の業績が好調なことと、製品価格と原料価格の価格差（スプレッド）が順調に推移したことにより、経常損益としましては、77億2千3百万円（前年同期比8.4%増）の利益となり、親会社株主に帰属する純損益は55億8千6百万円（前年同期比10.4%増）の利益を計上することとなりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(イ) 流動資産

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ102億7千万円減少し、583億3百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が103億8千4百万円、商品及び製品が17億1百万円、原材料及び貯蔵品が22億1千3百万円それぞれ減少したことと、現金及び預金が39億3千9百万円増加したことによるものであります。

(ロ) 固定資産

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ27億2百万円増加し、249億3千万円となりました。これは主に有形固定資産が43億9百万円増加したことと、投資有価証券が15億4千2百万円減少したことによるものであります。

(ハ) 流動負債

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ121億3千9百万円減少し、346億2千7百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が22億7千7百万円、短期借入金が100億1千5百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(ニ) 固定負債

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ3億9千7百万円増加し、99億1千5百万円となりました。これは主に長期借入金が2億8千8百万円、繰延税金負債が6千6百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(ホ) 純資産

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ41億7千4百万円増加し、386億9千1百万円となりました。これは主に自己株式の取得による支出が1億5千万円、その他有価証券評価差額金が4億9千9百万円それぞれ減少したことと、利益剰余金が45億7千1百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ39億3千3百万円増加し、91億7千7百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において営業活動による資金の増加は、主に税金等調整前当期純利益と減価償却費を計上したことと、為替差益の計上と売上債権が減少したことにより202億4千1百万円（前年同期は120億5千8百万円の増加）となりました。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において投資活動による資金の減少は、主に有形固定資産の取得による支出により59億2千9百万円（前年同期は45億6千万円の減少）となりました。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において財務活動による資金の減少は、主に短期借入金の純増減額が減少したことと長期借入れによる収入や返済による支出により111億4千6百万円（前年同期は77億6千8百万円の減少）となりました。

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	34.5	32.9	37.4	45.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	26.9	32.5	29.8	28.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	3.4	1.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	12.8	26.7

(注) 2017年3月期及び2018年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) 及びインタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) については、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載を省略しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による世界的な消費の落ち込みや生産活動の停滞など、世界経済が大きく減速することが懸念されており、予断を許さない状況が続くと見込まれます。

このような状況下において、当アルミニウム二次合金業界は大手需要先である自動車メーカーの大幅な減産で、先行きの不透明感が極めて強い状況であります。

こうした中、当社グループは、需要に見合う効率的な生産体制、原材料の価格変動にも対応出来る購買体制を図るなど、時代の変化に敏速に対応できるよう社業の発展に万全を期する所存であります。

次期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響により、現在見通しをたてることが困難なため、開示しておりません。なお、予想の開示が可能になった時点で、開示する予定であります。

当社の利益配分の基本政策は、企業収益の状況に対応して安定的な配当を維持することを基本とし、企業体質の強化、今後の事業展開に備えるための内部留保の充実等を勘案して決定すべきものと考えております。

次期の配当金としましては中間配当金を1株当たり12円と予想しておりますが、現時点では業績の予想を合理的に算定することが困難であることから、期末配当金につきましては未定といたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,336	9,276
受取手形及び売掛金	39,801	29,416
商品及び製品	10,462	8,760
仕掛品	144	276
原材料及び貯蔵品	9,607	7,394
その他	3,223	3,183
貸倒引当金	△2	△4
流動資産合計	68,574	58,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,203	14,182
減価償却累計額	△7,808	△8,182
建物及び構築物(純額)	5,394	5,999
機械装置及び運搬具	25,451	27,674
減価償却累計額	△19,050	△20,252
機械装置及び運搬具(純額)	6,400	7,422
工具、器具及び備品	1,432	1,524
減価償却累計額	△1,133	△1,224
工具、器具及び備品(純額)	298	300
土地	3,611	3,858
リース資産	1,015	1,293
減価償却累計額	△347	△375
リース資産(純額)	668	918
建設仮勘定	472	2,657
有形固定資産合計	16,846	21,156
無形固定資産		
のれん	37	16
その他	121	129
無形固定資産合計	159	145
投資その他の資産		
投資有価証券	4,420	2,877
長期貸付金	5	16
退職給付に係る資産	285	155
繰延税金資産	110	113
その他	598	683
貸倒引当金	△198	△217
投資その他の資産合計	5,222	3,628
固定資産合計	22,228	24,930
資産合計	90,802	83,234

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,187	6,909
短期借入金	32,656	22,641
未払金	1,220	1,647
未払法人税等	726	477
未払消費税等	217	227
未払費用	1,966	1,675
賞与引当金	263	280
その他	529	768
流動負債合計	46,767	34,627
固定負債		
長期借入金	8,409	8,698
役員退職慰労引当金	6	8
退職給付に係る負債	161	200
リース債務	109	103
資産除去債務	154	165
繰延税金負債	521	587
その他	154	152
固定負債合計	9,518	9,915
負債合計	56,285	44,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,346	6,346
資本剰余金	8,837	8,835
利益剰余金	18,755	23,326
自己株式	△1,190	△1,340
株主資本合計	32,749	37,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,108	609
繰延ヘッジ損益	18	77
為替換算調整勘定	97	367
退職給付に係る調整累計額	17	△73
その他の包括利益累計額合計	1,241	980
新株予約権	148	145
非支配株主持分	378	397
純資産合計	34,516	38,691
負債純資産合計	90,802	83,234

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	196,749	159,079
売上原価	181,925	144,376
売上総利益	14,823	14,703
販売費及び一般管理費		
運搬費	3,093	3,059
交際費	87	89
旅費及び交通費	221	238
役員報酬	309	238
給料及び手当	850	957
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
賞与引当金繰入額	66	59
退職給付費用	35	41
賃借料	60	69
減価償却費	137	175
貸倒引当金繰入額	—	13
その他	1,847	2,037
販売費及び一般管理費合計	6,712	6,984
営業利益	8,111	7,719
営業外収益		
受取利息	80	97
受取配当金	231	277
為替差益	—	223
技術指導料	10	7
鉄屑売却益	106	70
その他	231	166
営業外収益合計	661	842
営業外費用		
支払利息	926	748
手形売却損	12	10
為替差損	629	—
その他	78	80
営業外費用合計	1,647	839
経常利益	7,125	7,723

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	9	12
受取保険金	—	270
特別利益合計	9	283
特別損失		
固定資産除売却損	109	70
投資有価証券評価損	92	—
災害による損失	—	242
特別損失合計	202	313
税金等調整前当期純利益	6,933	7,693
法人税、住民税及び事業税	1,571	1,912
法人税等調整額	223	133
法人税等合計	1,795	2,046
当期純利益	5,138	5,647
非支配株主に帰属する当期純利益	79	60
親会社株主に帰属する当期純利益	5,058	5,586

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	5,138	5,647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△460	△499
繰延ヘッジ損益	△43	59
為替換算調整勘定	△331	264
退職給付に係る調整額	△43	△91
その他の包括利益合計	△878	△266
包括利益	4,259	5,380
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,186	5,325
非支配株主に係る包括利益	72	54

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,346	8,837	14,607	△745	29,046
当期変動額					
剰余金の配当			△911		△911
親会社株主に帰属する当期純利益			5,058		5,058
自己株式の取得				△444	△444
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	4,147	△444	3,702
当期末残高	6,346	8,837	18,755	△1,190	32,749

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	1,569	61	421	60	2,113	148	361	31,669
当期変動額								
剰余金の配当								△911
親会社株主に帰属する当期純利益								5,058
自己株式の取得								△444
自己株式の処分								—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△460	△43	△324	△43	△872	—	16	△855
当期変動額合計	△460	△43	△324	△43	△872	—	16	2,847
当期末残高	1,108	18	97	17	1,241	148	378	34,516

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,346	8,837	18,755	△1,190	32,749
当期変動額					
剰余金の配当			△1,015		△1,015
親会社株主に帰属する当期純利益			5,586		5,586
自己株式の取得				△155	△155
自己株式の処分		△2		5	2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△2	4,571	△150	4,418
当期末残高	6,346	8,835	23,326	△1,340	37,167

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	1,108	18	97	17	1,241	148	378	34,516
当期変動額								
剰余金の配当								△1,015
親会社株主に帰属する当期純利益								5,586
自己株式の取得								△155
自己株式の処分								2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△499	59	270	△90	△261	△2	19	△244
当期変動額合計	△499	59	270	△90	△261	△2	19	4,174
当期末残高	609	77	367	△73	980	145	397	38,691

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,933	7,693
減価償却費	2,361	2,712
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	37	27
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△31	5
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	13
受取利息及び受取配当金	△312	△374
支払利息	926	748
為替差損益 (△は益)	466	△222
投資有価証券評価損益 (△は益)	92	—
固定資産除売却損益 (△は益)	99	57
受取保険金	—	△270
災害による損失	—	242
売上債権の増減額 (△は増加)	2,681	10,682
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,629	4,150
仕入債務の増減額 (△は減少)	217	△2,510
その他	△599	△42
小計	14,503	22,915
利息及び配当金の受取額	312	374
利息の支払額	△941	△756
法人税等の支払額	△1,815	△2,292
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,058	20,241
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,352	△5,948
有形固定資産の売却による収入	41	21
投資有価証券の取得による支出	△1,084	△35
短期貸付けによる支出	△121	△80
短期貸付金の回収による収入	1	220
その他	△44	△107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,560	△5,929
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,768	△11,219
長期借入れによる収入	2,750	4,500
長期借入金の返済による支出	△5,251	△3,152
自己株式の純増減額 (△は増加)	△444	△155
配当金の支払額	△911	△1,015
非支配株主への配当金の支払額	△56	△35
その他	△87	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,768	△11,146
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42	△207
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△313	2,958
現金及び現金同等物の期首残高	5,557	5,244
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	975
現金及び現金同等物の期末残高	5,244	9,177

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主としてアルミニウム二次合金の製造販売を行っているため、「アルミニウム二次合金」を報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産の金額に関する算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は市場価格等に基づいております。事業セグメント利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	アルミニウム 二次合金				
売上高					
外部顧客への売上高	192,773	3,975	196,749	—	196,749
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,004	48	1,052	△1,052	—
計	193,778	4,024	197,802	△1,052	196,749
セグメント利益	7,863	266	8,130	△18	8,111
セグメント資産	86,989	4,211	91,200	△397	90,802

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイカスト製品事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△18百万円には、セグメント間の取引消去金額2百万円、のれんの償却額△21百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△397百万円には、セグメント間の債権債務の消去額△415百万円、のれんの計上額37百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	アルミニウム 二次合金				
売上高					
外部顧客への売上高	154,877	4,201	159,079	—	159,079
セグメント間の内部売上 高又は振替高	941	27	969	△969	—
計	155,819	4,229	160,049	△969	159,079
セグメント利益	7,370	368	7,739	△19	7,719
セグメント資産	78,119	5,478	83,597	△363	83,234

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイカスト製品事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△19百万円には、セグメント間の取引消去金額1百万円、のれんの償却額△21百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△363百万円には、セグメント間の債権債務の消去額△359百万円、のれんの計上額16百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	834.87円	941.88円
1株当たり当期純利益	122.40円	137.88円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	120.54円	135.78円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	5,058	5,586
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	5,058	5,586
普通株式の期中平均株式数(株)	41,331,033	40,516,927
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	637,065	628,113
(うち新株予約権)(株)	(637,065)	(628,113)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要		—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	34,516	38,691
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	526	542
(うち新株予約権)	(148)	(145)
(うち非支配株主持分)	(378)	(397)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	33,990	38,148
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	40,713,944	40,502,475

(重要な後発事象)

該当事項はありません。